

蕪崎市国民健康保険蕪崎市立病院におけるX線CT診断装置および画像診断ワークステーション調達事業者選定に係る  
公募型プロポーザル【質問回答書】

回答日 令和6年7月16日

	該当事項	該当箇所	該当内容	質問内容	回答
1	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 1-2-1.加点項目 1-2-1.加点項目 1-2-1.加点項目	電子ノイズの影響を受けないため、シンチレータ、フォトダイオード、DASは一体成型であり、アナログケーブルを一切使用しない構造であれば加点として評価する。	ハード的な機構(管球検出器構造)をブラッシュアップしたPUREVisionOpticsを搭載し、電子ノイズの影響・高画質・低被ばくにハード面でも対応していますので、1-2-1.加点項目の再考をお願い致します。	当項目では、フルデジタルを前提とした構造を期待する仕様としていますので、変更はありません。
2	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 1-2-3.必須項目 1-2-3.必須項目 1-2-3.必須項目	X線複数列検出器の体軸方向(Z方向)の検出器列数は64列以上であること。	高齢者や息止め不可の患者さん等の撮影に有効な80列を、64列クラスでも採用し、多列で高速性も担保している場合の評価につきまして再考をお願い致します。	高速撮影で必要かつ有用な機能と判断し、当項目に、1-2-3-1.加点項目「X線複数列検出器の体軸方向(Z方向)の検出器列数が80列以上であれば加点として評価する。」を追加します。
3	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 1-2-3.必須項目 1-2-3.必須項目 1-2-3.必須項目	X線複数列検出器の体軸方向(Z方向)の検出器列数は64列以上であること。	クラス最小の0.5mm撮影を可能とし、血管描出や整形領域などでの高精細画像の出力が可能な場合の評価につきまして再考をお願い致します。	造影検査や整形検査等での高精細画像の出力は必要かつ有用な機能と判断し、当項目に1-2-3-2.加点項目「最小撮影スライス厚が0.5mm以下であれば加点として評価する。」を追加します。
4	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 1-3-1.加点項目 1-3-1.加点項目 1-3-1.加点項目	X線管球の陽極物理熱容量は7.0MHU以上であれば加点として評価する。	X線管球の陽極物理熱容量が5MHUであっても、管球負担軽減機構を有しているため、連続検査は可能です。 また、管球の容量が大きいと一般的にランニングコストの増大が予想されますので、1-3-1.加点項目の再考をお願い致します。	当項目は、有用な撮影効果を期待する仕様としていますので、変更はありません。
5	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 1-3-3.加点項目 1-3-3.加点項目 1-3-3.加点項目	焦点サイズの大焦点が1.0mm×1.0mm以下であれば加点として評価する。	小焦点にて1.0×1.0を有している場合には、1.0×1.0以下の撮影が可能となりますので、文言の再考をお願い致します。	当項目は、大焦点と小焦点それぞれの焦点サイズによる鮮鋭性を考慮しますので、変更はありません。
6	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 1-4-1.加点項目 1-4-1.加点項目 1-4-1.加点項目	X線管電圧は4種類以上の設定が可能であり、最大140kV以上の出力が可能であれば加点として評価する。	高電圧側は135kVを有しており、また、高電圧で画質改善が期待される金属アーチファクト低減や、高体重患者においては、他技術でも対応可能となりますので、文言の再考をお願い致します。	当項目は、「X線管電圧は4種類以上の設定が可能であり、最大135kV以上の出力が可能であれば加点として評価する。」に改めます。
7	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 1-5-3.加点項目 1-5-3.加点項目 1-5-3.加点項目	天井に3D DLカメラを搭載する場合は加点として評価する。	ガントリ内部にカメラを搭載し、簡便なポジショニング機構を有しており、また、天井に搭載する場合に比べ工事費や更新時の取り外し費用などが削減できます。ガントリ内臓カメラの場合、CT装置の導入のみでカメラ機構が使用できませんので、文言の再考をお願い致します。	当項目では、天井からの3D DLカメラによる搭載する場合、または、ガントリ内臓カメラを2台以上搭載する場合は、加点として評価する。」に改めます。

8	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 1-7-1.必須項目 1-7-1.必須項目 1-7-1.必須項目 1-7-1-1.加点項目 1-7-1-1.加点項目 1-7-1-1.加点項目	1-7-1.必須項目 逐次近似再構成法を応用した画像再構成機能を有すること。  1-7-1-1.加点項目 逐次近似法を応用した画像再構成機能は10段階以上または別途画像再構成方法でディープラーニングを応用した画像再構成技術を有している場合は加点として評価する。	逐次近似応用再構成とディープラーニングを応用した画像再構成は、現在、各メーカーともに搭載可能です。また、ディープラーニングを応用した画像再構成は評価も高く、将来を見越しても必須の技術ですので、1-7-1-1.加点項目は当然の要件とし、併せて1-7-1.必須項目における文言の再考をお願い致します。	1-7-1.必須項目は、各メーカーともに対応可能な条件であることから、前提条件とするため、当該項目の文言を「ディープラーニングを応用した画像再構成機能を有すること。」に改め、1-7-1-1.加点項目「逐次近似法を応用した画像再構成機能は10段階以上または別途画像再構成方法でディープラーニングを応用した画像再構成技術を有している場合は加点として評価する。」を削除します。 また、1-7-1-2.加点項目を、1-7-1-1に繰り上げます。
9	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 1-8-1.加点項目 1-8-1.加点項目 1-8-1.加点項目	512×512マトリックス画像再構成時間が、最速65枚以上であれば加点として評価する。	512×512マトリックス画像再構成時間が、最速65枚以上は一般的であると考えます。また、画像再構成が早いことでワークフロー改善が可能となりますので、文言中、画像再構成時間における最速枚数/秒の再考をお願い致します。	画像再構成時間が早く、有用な機能と判断し、当該項目は、「512×512マトリックス画像再構成時間が、最速100枚/秒以上であれば加点として評価する。」に改めます。
10	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 1-8-7-1.加点項目 1-8-7-1.加点項目 1-8-7-1.加点項目 1-8-7-2.加点項目 1-8-7-2.加点項目 1-8-7-2.加点項目	1-8-7-1.加点項目 冠動脈の動きを抑制する動態解析アルゴリズム機能を有している場合は加点として評価する。  1-8-7-2.加点項目 冠動脈のみならず、心臓全体の動きを抑制する動態解析アルゴリズム機能を有している場合は加点として評価する。	この2つの加点項目は、1つに纏めることが可能であると思います。心臓検査では、1回の撮影で心臓全体と冠動脈の両方を止めることが期待されますので、1-8-7-1.加点項目と1-8-7-2.加点項目の結合と文言の再考をお願い致します。	1-8-7-1. 加点項目を「心臓全体の動きおよび、冠動脈の動きを抑制する動態解析アルゴリズム機能を有している場合は、加点として評価する。」に改め、1-8-7-2.加点項目を削除します。
11	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 2-1-2.必須項目 2-1-2.必須項目 2-1-2.必須項目	磁気ディスクは、画像データで1,000,000スライス以上の保存が可能であること。	CT画像1枚スライス当たり0.5MBと想定し、100万スライス=0.5TB相当と考えてよろしいでしょうか？	問題ありません。
12	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 2-1-3.必須項目 2-1-3.必須項目 2-1-3.必須項目	オプションソフトの同時アクセスクライアント数は3クライアント以上であること。	本体サーバWS+クライアント2台=3台同時アクセスの提案でも可能でしょうか？この場合、クライアント2台は固定端末での使用、クライアント設定先を増やすことは不可能な仕様となります。	問題ありません。
13	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 2-1-5.必須項目 2-1-5.必須項目 2-1-5.必須項目	三次元画像処理は1回のボリュームデータ計算より、ボリュームレンダリング、最大値投影表示、最小値投影表示、総和値投影表示、Weighted MIP表示が行えること。	Weighted MIP機能を有しておりませんが、リアカットモードという処理を使用し、背景をカットすることで目的領域のMIP画像の高信号領域を見やすくする処理は可能です。代替機能として提案することは可能でしょうか？	問題ありません。 MIP表示が可能であり、代替機能として”リアカットモード”による対応を可能とします。
14	実施要領 機器等調達仕様書 評価項目確認書 詳細仕様確認書	4-(2) 2-1-18.必須項目 2-1-18.必須項目 2-1-18.必須項目	体幹部の血管を自動的にトラッキングし、血管名をラベリングをする機能を有すること。	体幹部の血管を自動トラッキングする機能を有しておりませんが、2-1-17.必須項目の機能を代替機能として提案することは可能でしょうか？血管名のラベリングは手動入力にて対応可能です。	2-1-17.必須項目のMPR画像を構築する機能等で、求める要件を満たすことができれば可能とします。